

◆版画プレゼント◆



サイズ 17cm×24cm

春野 狐太郎

天声人語
書き写しノート



3冊セット630円(税込)

ASA(朝日新聞販売所)にて販売

フリーマーケット
出店者募集!!

開催日 10月29日(土)(雨天翌日)
11:00AM~3:00PM
会場 東西通り遊歩道「ふれあい広場」
会費 500円
焼きそば、ジュース、フランクフルト、
綿菓子、焼き鳥などの模擬店あり!!
130ブース出店 掘り出し物多数有り
お申込み・お問合せ
井荻ペット(太田) 3396-2506
新宿中村屋井荻店(西山) 3399-1623
西武井荻商店街振興組合

おたより情報

シヤバサボテン

まだ暑さが残る九月中頃には、既に店頭にも並んでいました。別名クリスマススカクタスとも言われるように、年内に開花するように品種改良されたものです。

霜にあたる葉が見事に傷んでしまします。一般に秋から春にかけては室内で管理します。ところが、室内に入れたら折角大きくなっていたつぼみが落ちてしまつてしまうことがあります。これは、急な環境の変化によるもので、室内に入れてもできる限り明るいところを選んで置くなど、徐々に室内の環境に慣らすようにしましょう。窓に近づけすぎると葉やけを生じます。また、エアコンの暖気が直接当たると、ような場所も良くありません。

水やりは、葉が多肉質なので、乾燥にはよく耐えますが、水を与えすぎると根腐れの原因となることもあります。

肥料は開花中は必要ありませんが、新芽が活動する四月以降施しましょう。窒素・燐酸・カリ分の低い緩効性の固形肥料を五号鉢ならば三グラム程度を月一回、梅雨明け後は花芽を多くするため控えめです。また、できればこの際に、赤玉土に腐葉土を二〜三割混ぜた新しい用土で植え替えてやりましょう。

購入の際は、①葉が肉厚で虫食いが少ないもの②花つきのおおきいもの③つぼみがまんべんなくついでいて大きさが揃っているものを選びましょう。

「シヤコバサボテンは、冬でも室内で楽しませてくれる植物ですね。以前友人宅にあり、素敵だと思っていました。購入の際には三つの点を押さえて選びたいと思います。」

氷田様の植物に関するお話を、毎月楽しみにしております。いつもお花屋さんで聞いたりするのですが、寄り道して帰るとすっかり聞いた事を忘れてしまつたりするので、サン・サン・ネットをスクラップし役立てています。

これからの色々と植物のお話を聞かせてください。ハナシヨウブを頂きました。大切に育てたいと思います。ありがとうございます。

「A」先日、井草店に氷田様への植物の質問を頂きました。私どもは植物に関して素人なので、氷田様のアドバイスはとても助かります。いつもありがとうございます。

長男の中学校の図書室に専任の司書の方がいられて、とても明るく親しみやすい空間に変身して喜んでいて。授業での活用、昼休みの利用で図書室に親しみ、本に親しむ経験は一生の宝になると信じている。今年度は司書が区立中学校全校配置になり、小学校の図書室にも、ゆくゆくは全校配置されると聞く。本を手に取り、様々な方面に興味を持ち、ワクワクしながら毎日を楽しめる、そんな子ども達が増えたらいいなと思っている。

「A」図書室という雑然と本が並んでいて、暗いイメージがありました。司書の方が入れれば、整理はもちろんなこと、新しいものも入るし、今までとは違う空間になりそうですね。

台風が去つたら秋が来るのでしょうか。余りにも暑さが長く続くので、くたびれ気味です。夕方になると秋の虫の音が聞こえたり、秋の花が咲きだしたりで確実に秋が近づいて来ています。さわやかな季節が長く続いて欲しいものです。今年は日除けに朝顔をいろいろな種類植えたのですが、あまりの高温の為に洋種の朝顔の方が元気がよく、私の好きな日本の朝顔は全くダメでした。残念。

「A」今年は夏が来るのが遅く、九月は暑かったですね。十月に入った途端、急に冷えこんできました。体調を崩されませんかよう、お気を付けてください。

秋の楽しみとして、二、三年巾着田の曼珠沙華を見に行つています。あたり一面が真っ赤におわれて、それは幻想的です。まだの方は是非見に行つて下さい。(見頃は九月中旬〜下旬)

「A」巾着田の曼珠沙華まつりは十月十日まで延長されたようです。西武池袋線高麗駅から徒歩約十五分、一年を通していろいろな花を楽しめるようです。

先月頂いたチケットで出光美術館に行つて来ました。作品はどれも素敵で、休息室の前は皇居と広大な緑が見え、とても堪能して帰って来ました。ありがとうございます。

「A」楽しんで頂いたようで、私どもも嬉しいです。九階なので景色もいいですね。

「A」楽しんで頂いたようで、私どもも嬉しいです。九階なので景色もいいですね。

「A」私どもも毎回勉強させて頂いており、勉強になります。大星様より

九月二十一日、台風十五号が日本を縦断し午後首都圏を直撃した。私は過去一、二回此処で水難に遭っている。またか。私は朝から一階の家人に手伝わせない浸水に備えた。靴、パソコン類、夫の想い出の品と順次高い所に上げた。トイレの便器や風呂場の排水口は下水道の汚水が上がつてこないよう塞いだ。区から「土のう」を四十個届けてもらう。一つの玄関口と勝手口を二段に積んだ。畳はいざという時上げられるよう孫達に頼んだ。孫達は事態を全く理解していないが、祖母のすごい剣幕に気圧されて黙って作業した。

私はずっとテレビの台風情報に目を凝らす。時折窓から外の様子を確かめる。風雨は強いがこの前浸水したときの「一時間」に「二ミリの降り方ではない。少しづつ落ちていく。夫の納骨を二日前に済ませたばかり。おじいちゃん石の下で冷たかろうとせつない。長孫が、お墓にあるのはナキガウだよ。おじいちゃん位牌になつて此処にいるんだよ」と言つた二十歳の孫に、五十六年も連れ添つた伴侶との別れの悲しみが分かるはずはない。でも彼は夫の死と台風で落ちこんでしまった祖母をなんとか元気にしようとしている。東京都も杉並区も治水に力を入れていて、東京大丈夫だよ」と公務員のようなことを言う。無口な次孫はなんにも言わず階段の下でしゃがみこんでいる。困り果てたという顔である。高三の孫を拘束したのは迂闊だった。あ、りがとう、もう大丈夫だから」と言つと彼は跳ぶように上がつて行った。

夕方、テレビは交通機関が停まつて人々、で溢れた駅の様子を映しはじめた。我が家の浸水はなさそうではある。台風十五号は東北へ。東日本大震災からやつと立ち直ろうとしている人達を想い心が痛んだ。

二十一日の夕刊の配達時は台風が首都圏通過の真ん中。夕刊は全く濡れずいつも通りにポストに入つていた。大へんだつた。あ、りがとうございました。

「A」台風当日は新聞が遅れ、皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。申し訳ございませんでした。

夕刊の時間は雨風が一番ひどい時間帯でしたが、怪我する事もなく皆無事に帰って来ました。以前浸水された方々は、とても不安だったことと思います。台風十五号の影響で物が壊れたり、遅くまでご自宅に帰れなかった方もいらっしゃるようです。井荻の近辺のお宅が浸水されたお話は聞いていませんので一安心いたしました。